

平成30年度 産学接続コースの基本情報について

1 コースの分類

分類名	プロ育成教育コース・専門教育コース
-----	-------------------

※①プロ育成教育コース・専門教育コース、②実践教育制度併設コース、③プロライセンスコースの3類型から選択。

【参考】大阪発「産学接続コース」の類型

プロ育成教育コース・専門教育コース	・プロ育成教育コースは、全学年を通じて、学校と企業とで策定されたカリキュラムを履修することとなります。授業全部が産学共同のカリキュラムであり、その中には企業で実施する現場実習も含まれます。 ・専門教育コースは、学校で学ぶカリキュラムの中に、企業と共同で実施する研修が組み込まれたものです。研修は企業の現場で実施されます。
実践教育制度併設コース	・実践教育制度併設コースは、学校で学ぶカリキュラムとは別に、学校が独自に研修制度を設置しています。希望者がこれを活用して、実践的な産学接続教育を受けることができます。
プロライセンスコース	・プロライセンスコースは、指定養成分野において、国家資格等の取得に必要な教育のほか企業や業界のニーズを踏まえたより実践的な教育が実施されることが特徴です。

2 学科概要

専修学校名	新大阪歯科衛生士専門学校	分野区分	医療
課程名	医療専門課程	修業年限	3年
学科名	歯科衛生士学科(昼間部)	学科定員数	180名
学科開設年月日	平成15年3月31日	学科実員数	180名
コース設置年月日	平成15年3月31日	推奨年度	平成30年度
当該学科の教育目標	『職業人教育を通して社会に貢献すること』をミッションとし、広い視野を持って現実を見つめ、豊かで柔軟な感性と人格を身につけ、基本的知識・技術を発展的に捉え、常に新しい技術を追求め、未来を見つめる「心構え」すなわち「主体性」を持った社会に必要とされる職業人の養成を目指している。この「主体性」の修得こそ本校が目指す教育であり、三つの教育理念「実学教育」「人間教育」「国際教育」を柱に「主体性」を持って、現代社会で自己の未来を切り開いてゆく創造的能力と、勇気と信念を持った人間の育成、歯科業界でリーダーとなれる人材の育成を教育の目標、目的としている。		
就職を目指す職業	歯科医院、病院(歯科・口腔外科)、歯科系企業、高齢者施設、保健センター等に於いて歯科衛生士業務を実施。		
当該学科に対する業界のニーズ	歯科分野について実践的な知識や技術を修得し、社会人基礎力を身につけ、またコミュニケーション能力も高い即戦力人材を獲得できる。		

3 企業・業界との提携内容等(コースの内容) ※平成29年度実施内容

提携企業名(業界名等)	届出歯科医院、総合病院、大学附属病院等(歯科業界)		
提携企業の具体的なニーズ	医療人としてのコミュニケーション能力と問題解決能力を身に付けた人材の育成。		
コースの目標	学内で習得した知識・技術を、臨床現場の実際を通して、理解し、自らのキャリアとして習得する。		
企業等との提携内容や実習内容 ※両者の役割分担や共同作業の内容など	学内では、基本的知識・技術を習得し、企業(臨床)実習では、見学や実体験をもとに知識・技術を確実なものとする。		
提携契約期間	平成28年11月～平成29年10月		
現場実習期間	平成28年11月～平成29年10月 4～6週(年・月・週間)×6回(900時間相当)		
コース受講生の募集及び実習先の選定方法	厚生労働省の指導要領に基づいたカリキュラムにそって全員が履修する。また、実習先の選定については、学生アンケート希望にそって、担任が学生の適正等を考慮しながら選定を行う。		
履修認定	履修認定時間／総授業時間	賃金支払	雇用契約
<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	900時間／2970時間	有・ <input type="checkbox"/> 無	有・ <input type="checkbox"/> 無
無料職業紹介届出	実習に係る保険の種類	企業評価の有無	最賃との関係
<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	学校災害補償	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	充足・非充足
			その他費用負担
			有・ <input type="checkbox"/> 無

評 価 方 法	学 校	企業からの評価をもとに、学科試験・や出欠状況もあわせて、進級判定会議ならびに卒業判定会議にて習得状況を評価。
	企 業	実習日誌にて日々の習得状況を確認し、助言や評価を実施。また、臨床実習評価表において、実習における習得すべき項目ならびに5段階で総合評価を行う。
学 生 へ の 支 援 ・ 配 慮 事 項		臨床実習指導要領を活用し、学内において事前研修を実施。また、実習中は、担任等が定期的に実習先を見回り、実習先の指導担当者と連携を取りながら学生のフォローやケアを行っている。

※予定又は見込みの場合は()書きで記載すること。

※提携教育時数が学年ごとに異なる場合には各学年ごとに記載すること。

4 卒業・就職後の早期離職防止のための対策等(企業等における現場実習以外の対策)

卒業・就職後の早期離職防止のための対策と見込まれる効果(自由記述)
個人にあったきめ細やかな就職指導を行うため、就職委員会を設置し就職担当者と担任等が情報共有を行いながら、就職スケジュールに沿って年間を通じた就職対策を実施している。クラス担任による個別面接をはじめ就職オリエンテーションを通じて社会人マナー教育や就職に対する心構えを指導。企業説明会等により業界が求める人材について学生が理解できる機会、また学生と業界ニーズがマッチングできる機会を提供している。卒業生に対しては、同窓会等との連携により在職調査や卒後研修を実施。また卒業生から得られた情報は、新卒時の在校生指導にも有効活用している。

※在校生又は卒業生に対しての実施事例について、目的・効果と具体的内容を記載すること。

5 申請学科及び申請コースの就職状況又は見込(推奨年度の在籍生の卒業時の見込)

ア. 就職者数等	平成 28 年度(実績)	平成 29 年度(見込)
a. 学科修了者数	59名	53名
b. 「a」のうち、当該産学接続型職業教育の活用者数	59名	53名
c. 「b」のうち、就職希望者数	57名	53名
d. 「b」のうち、提携企業への就職者数	16名	10名
e. 「b」のうち、提携企業と同業界への就職者数	41名	46名
f. 「b」のうち、進学者数	0名	0名
イ. 主な就職先、業界等	歯科診療所、歯科関連企業、病院	

6 申請学科及び申請コースの中途退学の現状

ア. 中途退学者数・中退率
a. 中途退学者 7名(中退率 3.9%)
b. 平成28年4月1日在学者 180名(平成28年4月入学者を含む)
c. 平成29年3月31日在学者 173名(平成29年3月卒業生を含む)
イ. 中途退学の主な理由
学業不振、体調不良、進路変更
ウ. 中退防止のための取組
独自の教育システムで教育を行っている。「自己変革教育システムPIBAP(ピバップ)」により、段階的な教育を実施。入学前から、目的意識・基礎学力・人間関係作りを意識した取り組みを行っている。また、担任だけでなく多くの教職員やカウンセラーによる退学防止に向けたケア等を実施している。

7 学校関係者評価の実施・公表

・学校関係者評価結果の公表先 URL: <http://www.sdhc.ac.jp>

平成30年度 産学接続コースの基本情報について

1 コースの分類

分類名	プロ育成教育コース・専門教育コース
-----	-------------------

※①プロ育成教育コース・専門教育コース、②実践教育制度併設コース、③プロライセンスコースの3類型から選択。

【参考】大阪発「産学接続コース」の類型

プロ育成教育コース・専門教育コース	・プロ育成教育コースは、全学年を通じて、学校と企業とで策定されたカリキュラムを履修することとなります。授業全部が産学共同のカリキュラムであり、その中には企業で実施する現場実習も含まれます。 ・専門教育コースは、学校で学ぶカリキュラムの中に、企業と共同で実施する研修が組み込まれたものです。研修は企業の現場で実施されます。
実践教育制度併設コース	・実践教育制度併設コースは、学校で学ぶカリキュラムとは別に、学校が独自に研修制度を設置しています。希望者がこれを活用して、実践的な産学接続教育を受けることができます。
プロライセンスコース	・プロライセンスコースは、指定養成分野において、国家資格等の取得に必要な教育のほか企業や業界のニーズを踏まえたより実践的な教育が実施されることが特徴です。

2 学科概要

専修学校名	新大阪歯科衛生士専門学校	分野区分	医療
課程名	医療専門課程	修業年限	3年
学科名	歯科衛生士学科(夜間部)	学科定員数	180名
学科開設年月日	平成15年3月31日	学科実員数	180名
コース設置年月日	平成15年3月31日	推奨年度	平成30年度
当該学科の教育目標	『職業人教育を通して社会に貢献すること』をミッションとし、広い視野を持って現実を見つめ、豊かで柔軟な感性と人格を身につけ、基本的知識・技術を発展的に捉え、常に新しい技術を追求め、未来を見つめる「心構え」すなわち「主体性」を持った社会に必要とされる職業人の養成を目指している。この「主体性」の修得こそ本校が目指す教育であり、三つの教育理念「実学教育」「人間教育」「国際教育」を柱に「主体性」を持って、現代社会で自己の未来を切り開いてゆく創造的能力と、勇気と信念を持った人間の育成、歯科業界でリーダーとなれる人材の育成を教育の目標、目的としている。		
就職を目指す職業	歯科医院、病院(歯科・口腔外科)、歯科系企業、高齢者施設、保健センター等に於いて歯科衛生士業務を実施。		
当該学科に対する業界のニーズ	歯科分野について実践的な知識や技術を修得し、社会人基礎力を身につけ、またコミュニケーション能力も高い即戦力人材を獲得できる。		

3 企業・業界との提携内容等(コースの内容) ※平成29年度実施内容

提携企業名(業界名等)	届出歯科医院、総合病院、大学附属病院等(歯科業界)		
提携企業の具体的なニーズ	医療人としてのコミュニケーション能力と問題解決能力を身に付けた人材の育成。		
コースの目標	学内で習得した知識・技術を、臨床現場の実際を通して、理解し、自らのキャリアとして習得する。		
企業等との提携内容や実習内容 ※両者の役割分担や共同作業の内容など	学内では、基本的知識・技術を習得し、企業(臨床)実習では、見学や実体験をもとに知識・技術を確実なものとする。		
提携契約期間	平成28年11月～平成29年11月		
現場実習期間	平成28年11月～平成29年11月 4～6週(年・月・週間)×6回(900時間相当)		
コース受講生の募集及び実習先の選定方法	厚生労働省の指導要領に基づいたカリキュラムにそって全員が履修する。また、実習先の選定については、学生アンケート希望にそって、担任が学生の適正等を考慮しながら選定を行う。		
履修認定	履修認定時間／総授業時間	賃金支払	雇用契約
<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	900時間／2970時間	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
無料職業紹介届出	実習に係る保険の種類	企業評価の有無	最賃との関係
<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	学校災害補償	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	充足・非充足
			<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無

評 価 方 法	学 校	企業からの評価をもとに、学科試験・や出欠状況もあわせて、進級判定会議ならびに卒業判定会議にて習得状況を評価。
	企 業	実習日誌にて日々の習得状況を確認し、助言や評価を実施。また、臨床実習評価表において、実習における習得すべき項目ならびに5段階で総合評価を行う。
学 生 へ の 支 援 ・ 配 慮 事 項		臨床実習指導要領を活用し、学内において事前研修を実施。また、実習中は、担任等が定期的に実習先を見回り、実習先の指導担当者と連携を取りながら学生のフォローやケアを行っている。

※予定又は見込みの場合は()書きで記載すること。

※提携教育時数が学年ごとに異なる場合には各学年ごとに記載すること。

4 卒業・就職後の早期離職防止のための対策等(企業等における現場実習以外の対策)

卒業・就職後の早期離職防止のための対策と見込まれる効果(自由記述)
個人にあったきめ細やかな就職指導を行うため、就職委員会を設置し就職担当者と担任等が情報共有を行いながら、就職スケジュールに沿って年間を通じた就職対策を実施している。クラス担任による個別面接をはじめ就職オリエンテーションを通じて社会人マナー教育や就職に対する心構えを指導。企業説明会等により業界が求める人材について学生が理解できる機会、また学生と業界ニーズがマッチングできる機会を提供している。卒業生に対しては、同窓会等との連携により在職調査や卒後研修を実施。また卒業生から得られた情報は、新卒時の在校生指導にも有効活用している。

※在校生又は卒業生に対しての実施事例について、目的・効果と具体的内容を記載すること。

5 申請学科及び申請コースの就職状況又は見込(推奨年度の在籍生の卒業時の見込)

ア. 就職者数等	平成 28 年度(実績)	平成 29 年度(見込)
a. 学科修了者数	51名	56名
b. 「a」のうち、当該産学接続型職業教育の活用者数	51名	55名
c. 「b」のうち、就職希望者数	50名	55名
d. 「b」のうち、提携企業への就職者数	8名	10名
e. 「b」のうち、提携企業と同業界への就職者数	42名	45名
f. 「b」のうち、進学者数	0名	0名
イ. 主な就職先、業界等	歯科診療所、歯科関連企業、病院	

6 申請学科及び申請コースの中途退学の現状

ア. 中途退学者数・中退率
a. 中途退学者 12名(中退率 6.7%)
b. 平成28年4月1日在学者 179名(平成28年4月入学者を含む)
c. 平成29年3月31日在学者 167名(平成29年3月卒業生を含む)
イ. 中途退学の主な理由
学業不振、体調不良、進路変更
ウ. 中退防止のための取組
独自の教育システムで教育を行っている。「自己変革教育システムPIBAP(ピバップ)」により、段階的な教育を実施。入学前から、目的意識・基礎学力・人間関係作りを意識した取り組みを行っている。また、担任だけでなく多くの教職員やカウンセラーによる退学防止に向けたケア等を実施している。

7 学校関係者評価の実施・公表

・学校関係者評価結果の公表先 URL: <http://www.sdhc.ac.jp>